

○ 第1部 市政報告	
(1) 市長からの市政報告	
1. カーボンニュートラル推進の取組	市長
2. デジタル化の推進	
・マイナンバーカード	
・各種手続きのオンライン化	
・電子地域通貨	
3. 森林観光都市を目指したまちづくり	
・小田急線4駅周辺にぎわい創造	
・弘法山公園利活用方針	
・羽根森林資源活用拠点（仮称）	
4. 女性と子どもが住みやすいまちづくり	
5. 前田夕暮生誕140周年の取組	
6. 教育支援の充実（はだのE-Lab）	
7. 通学路整備・市道改良など	
・市道26号線（南矢名陸橋）橋りょう修繕耐震補強	
・市道9号線歩道設置	
8. クアーズテック秦野カルチャーホール大規模改修工事に伴う休館	
※詳細は別途資料参照	

(2) テーマに基づく市政報告

【市からの状況説明】

○小児から高齢者や障害を持つ方が住みやすく感じる生活環境整備の具体的な施策（大根地区での取組）

【子育て施策】

・秦野市では、子育て世帯に対して、安心して妊娠出産ができ、秦野で子育てしてよかったと思っただけのような事業を実施している。

・子育て家庭の孤立防止や育児不安の軽減を目的とし、未就園児親子の交流の場「ぼけっと21おおね」をひろはたこども園内で週3回開設し、子育てアドバイザーが常駐しており、子育ての不安や悩みを気軽に相談することができる。

・子どもの居場所づくりや貧困対策の一環として、子ども食堂や学習支援を運営する市民団体に対し、開催場所の確保や周知協力、運営費の一部を補助するなどその活動を支援している。大根地区で、「みんなの食堂」を運営されているが、見学に来た高校生や大学生がみんなの食堂に共感し、ボランティアスタッフとして参加し、子どもから高齢者まで楽しく作業をされている。

【障害者施策】

・障害のある人もない人も、支え合いながら自分らしく、住み慣れた地域で生き生きと暮らせるまちを目指している。

・取組として、福祉事務所と農家をつなぎ（マッチング）、障害者の就労支援と農家の担い手の確保を図っている。

・入所支援施設等との連携として、障害を持つ方の家族に緊急事態が発生したときの短期入所の受け入れや、災害時に広域避難場所への避難が難しい方の受け入れについて、市内10か所の施設と協定を結んでいる。

【高齢者施策】

・超高齢化社会を迎えた中、すべての人が生きがいや希望をもって暮らす健康長寿社会を目指している。

・地域高齢者支援制度では、地域高齢者支援センターを市内7か所に設置し、介護に関する専門の職員が高齢者やその御家族、地域住民の皆様からの相談を受けている。大根地区は、県社会福祉事業団に委託をし、湘南老人ホーム内と秦野高校近くに設置している。

・広畑小学校の一部を利用し、平成12年から広畑ふれあいプラザを設置し、健康保持・増進活動、生きがい活動、生涯学習活動などを実施している。



未就園児親子の交流の場  
ぼけっと21



障害者の就労支援  
と農家の担い手の確  
保



高齢者地域交流センター



広畑ふれあいプラザ

	<p>【質問・要望・意見等】</p> <p>(意見) ・大根地区での取組がよくわからない。E-Labの取組や通学路、障害者の方の災害時の対応など、市の取組が地域につながっていないと感じている。</p> <p>(回答) ・市の取組については、月2回の「広報はだの」の発行、ホームページや報道機関を利用した情報発信などに努めているが、市民の方に届いていないという現状はある。1人1人にそれぞれ伝えることは難しいものの、情報が届いていないことについては、市としても大きな課題としている。粘り強く情報発信をしていきたい。 ・E-Labについては、子どもの学力向上や子育て支援の充実を目指すうえで、教育研究所を独立した機関として旧大根幼稚園園舎を有効活用し、今年度、設置した。今後も事業内容について、地域の皆様に情報発信していく。</p> <p>・通学路の安全対策については、各小中学校からの要望を受け、市の教育部、建設部、くらし安心部の3部と秦野警察署、学校と現地を調査した上で、対応策を検討している。要望の中には、信号機・横断歩道の設置、道路の拡幅・歩道設置の要望が多いが、信号機や横断歩道の設置には公安委員会の基準があり、道路を広げるには地権者の方の了解を得る必要があり、なかなか要望どおりの対応ができないが、それぞれの場所に合わせた実現可能な安全対策に取り組んでいる。</p> <p>・障害者の災害時の受け入れについて、大根地区では、ライフステージ・悠トピア、秦野精華園、弘済学園と協定を結んでいる。広域避難場所への避難が難しい方は、施設の協力をいただくこととなっている。</p>	<p>まちづくり委員会</p> <p>市長</p> <p>建設部長</p> <p>福祉部長</p>
<p>○ 第2部 市政全般について</p>	<p>(質問) ・通学路の安全対策について、実際にどのような対応をされているのか。</p> <p>(回答) ・信号機や歩道設置の代替策として、歩道部分へのグリーンベルト設置、ドライバー及び歩行者である子どもたちに向けた注意喚起の看板・路面標示などを実施している。 ・今後も実際に現地に出向いて行う合同点検の中で対応策を検討し、各現場に応じた対応をとっていく。</p>	<p>南矢名下部 第三自治会</p> <p>建設部長</p>



<p>(意見) ・ひとり暮らしの高齢者が自宅で亡くなり、死後数日経って、亡くなっていたことが分かった。自治会として何かできる取組はあるか。</p>	<p>大根台団地 自治会</p>
<p>(回答) ・ひとり暮らしの高齢者の方は、市に登録することにより、民生委員や地域高齢者支援センターの職員による訪問・相談などの見守りが受けられる。また、緊急通報システムの利用などがある。 ・自治会の皆様には、地域の顔がわかる関係づくりをお願いしたい。</p>	<p>福祉部長</p>
<p>(質問) ・秦野市に不登校児童はどのくらいいるのか。またどのような支援を行っているのか。</p>	<p>大根台団地 自治会</p>
<p>・秦野市の不登校児童は、令和元年度の実績で、小学生が52人、中学生が147人。 ・不登校児童生徒の支援として、秦野駅前の農協ビルに教育支援教室いずみ、旧上幼稚園に設置されている訪問型個別支援教室「つばさ」、また、旧大根幼稚園跡地に「つばさ」のサテライトとして支援を行っている。</p>	<p>政策部長</p>
<p>(質問) ・障害を持っている方に学校の中でどのような支援が行われているのか。先生が足りていない状況で、市が補充すべきではないのか。</p>	<p>大根台団地 自治会</p>
<p>(回答) ・大根小学校がインクルーシブ教育の実践校となっており、障害をお持ちの方には、先生が一人一人ついて対応している。</p>	<p>自治会連合 会長</p>
<p>(意見) ・秦野には活気がない。たばこ祭りは、喫煙者を増やすようなお祭りで、他市から人を呼べない。地域の活性化はたばこ祭りの名称を変えることからではないか。</p>	<p>南矢名学園 台自治会</p>
<p>(回答) ・たばこ祭りの名称についてはいろいろな御意見があることは承知しているが、秦野発展の礎を築いた葉たばこ栽培への情熱を引き継ぐものである。 ・子どもにたばこを推奨するものではなく、その情熱を「火」にたとえて行っている。 ・子どもたちの健全育成も踏まえた御意見をいただいたことを関係者に共有する。</p>	<p>市長</p>
<p>(意見・要望) ・新規開院する産科アクアベルクリニックは、秦野赤十字病院の産科分をカバーできるのか。 ・市民が減ってしまうことは寂しいことなので、若者向けの施策を強化してほしい。</p>	<p>北矢名第一 自治会</p>
<p>(回答) ・秦野赤十字病院ではベット数が44床で、秦野市では1000人を超えるお子様が毎年生まれていた。現在は800人を下回っている。アクアベルでは13床だと年間400人から450人の出産が可能となるが、少ないことは承知している。 ・秦野赤十字病院の分娩再開は少子化対策として重要なことであると認識している。引き続き、病院、県への要望や体制整備を行っていく。</p>	<p>こども健康 部長</p>